

1 取組名称

研究・仕事基礎力を踏まえた自主企画力育成

2 取組組織

理工学研究科・生命科学専攻

3 取組実施代表者名

理工学研究科・生命科学専攻・教授・松浦克美

4 取組期間

1年間（平成22年度）

5 取組の概要

理工学研究科・生命科学専攻（博士前期課程収容定員80名、後期課程収容定員54名）における教育を、学生の現状を今まで以上に踏まえ、研究者ばかりでなく社会の様々な場所で活躍できる人材を育成できるようにしていくための教育改革に取り組む。そのために、平成20年度から授業科目として設置した、3つの演習科目、「企画経営演習」「国際実践演習」「研究評価演習」を定着させ、より多くの学生が履修し、学習の成果が高まるような事業を展開する。「企画経営演習」では、「アウトリーチ活動」と「研究室を超えた学生グループ学習活動」を中心に実施する。「国際実践演習」では、国際学会発表、国際シンポジウム開催、海外研究者との共同研究等、実践的な場を通しての、英語力と国際対応力の向上に取り組む。「研究評価演習」では、研究企画力、批判評価力、研究マネジメント力を強化し、日本学術振興会特別研究員（PD）や民間学術研究助成の採択を目指す。特に、研究・仕事基礎力の育成を合わせて行うことにより、自主的に企画ができる学生の割合を増やす。

6 事後評価での総合評定

目的はほぼ達成された

7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・ 目的に沿った3つの演習科目として設置し、定着期にきている。日本学術振興会 DC2 の採択数の増加は高く評価する。
- ・ 「自主企画力」を測定する基準が不明である。